

図書館だより

こちらのQRコードから
人吉市図書館のホーム
ページにアクセスでき
ます



2022年



人吉市図書館
〒868-0015 人吉市下城本町1578-1
TEL:24-3518 FAX:24-4329
[開館日]火曜日～日曜日・祝日
[開館時間]午前9時～午後5時
[夏休み期間の平日]午前9時～午後6時



人吉市童話発表大会について



昨年度、伝統ある『熊本県童話発表大会』及び『人吉球磨児童による童話発表大会』が終了しましたが、本市教育委員会としましては、教育の推進のために、子どもの読書活動を大切にしなければならないという確固たる考えから、本市独自の新たな『人吉市童話発表大会』を令和4年2月に開催いたしました。この大会から主催者による予選・本選を予定し、参加者を公募したところ、13名の参加希望がありました。しかし、コロナウィルス感染の急拡大を受け、残念ながら中止を余儀なくされましたが、大会に向け読書に親しみ、一生懸命練習されてきたその頑張りに対し優秀賞と記念品を参加希望者全員に贈らせていただきました。また、なんとか発表の場、思い出の場を提供したいという強い思いから、ビデオ撮影会を実施したところ、5名の参加があり、その子どもたちのいきいきとした発表の様子を録画した、DVDをお渡しすることができました。

今年度も、第2回人吉市童話発表大会を秋頃の開催に向けて計画しています。開催が決まりましたら、皆様にお知らせいたしますので、ふるってご参加いただきますようお願いいたします。



写真はビデオ撮影会での表彰の様子

夏休みの開館時間延長と学習室開放について

いよいよ夏休みが始まります。人吉市図書館では、より多くの方にご利用いただくため、夏休み期間中(土・日・祝日を除く)の開館時間を午後6時まで延長します。なお期間中、学習室を開放する予定です。学習室の場所については、図書館へお尋ねください。

※但し、新型コロナウイルス感染症拡大防止やその他の事情により開放できない場合もありますので、その際はご了承下さい。

開館時間延長期間: 令和4年7月21日(木)～8月25日(木)
平日の午前9時～午後6時まで

新刊案内 (5月16日~6月15日)

期間中に入荷した一般書の新刊は111冊、児童書の新刊は100冊です。(※一部をご紹介します。)

書名(一般書)	著者	書名(児童書)	著者
SDGs思考 社会共創編	田瀬 和夫	名探偵コナンハロウィンの花嫁	青山 剛昌
江戸で部屋さがし	菊地 ひと美	でんしゃでまなぶにほんのめいさん	「旅と鉄道」編集部編
親のことが嫌いじゃないのに「なんかイヤだな」と思ったときに読む本	藤木 美奈子	高齢者を知ろう!	平松 類
おいしい道の駅ドライブ 2022	昭文社	寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ	ヴィッキー・ウッドゲート
なぜか聴きなくなる人の話し方	秀島 史香	おならおうこく	丸山 誠司
ウクライナ侵略戦争	『世界』編集部	十年屋 6	廣嶋 玲子
主婦をサラリーマンにたとえたら想像以上にヤバくなったマンガ	河内 瞬	ウルトラマンと学ぶ宇宙と生命体	高水 裕一
シルバー川柳 丘を越えて編	みやぎシルバーネット	ともだちはしおりのこぶた	真山 みな子
時間があっても、ごはん作りはしんどい	小竹 貴子	ハナはへびがすき	蟹江 杏
茶呑みめし	大原 千鶴	目で見ることばで話をさせて	アン・クリア・レゾット
動物のスゴい耳図鑑	かわい きみ子	よだかの星	宮沢 賢治
ヨーグルトの本	向井 智香	ミルキー杉山のあなたも名探偵ガイドブック	杉山 亮
なぜ、歯ぐきが健康な人ほどいつまでも長生きできるのか	船越 栄次	空飛ぶのらネコ探検隊 9	大原 興三郎
10代の女の子のための性のお悩み相談室	宮川 三代子	ペネロペ ママがだーいすき	アン・グットマン
基礎からわかる妊婦・授乳婦のくすりと服薬指導	山中 美智子	ぱったんして	松田 奈那子
マンガでわかる0~2歳児のおうちあそび	汐見 稔幸	おかげさまで名探偵	杉山 亮
男の肌活 現役世代の新ルーティーン	橋本 加代子	のぞいてごらんおとぎのせかい	青山 邦彦
再現イラストでよみがえる日本史の現場	朝日新聞出版	おんぷちゃんとたいこ	とよた かずひこ
この1冊でOK!一生使えるマナーと作法	明石 伸子	野ばらの村のふねのたび	ジル・パークレム
動物のスゴい耳図鑑	川崎 悟司	恋愛問題は止まらない	吉野 万理子
人生、しばしばホームレス	中川 波佳	ひみつのさくせん	ニコロ・カロツツイ
風に訊け	佐伯 泰英	キツネ	イザベル トーマス
氷の致死量	榎木 理宇	あそび室の日曜日	村上 しいこ

その他の新刊はインターネット・図書館内検索機でも検索できます。詳しくは図書館へお尋ねください。

休館日案内

*網かけの日が休館日です。

○印 午後6時まで開館(～8月25日まで)

原則月曜日が休館日ですが、月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日が休館日となります。

【7月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※今後の新型コロナウイルス感染状況により、急きょ時間短縮や臨時休館することがあります。

新刊のイチオシ!

一般書	児童書
<p>家系図でわかる日本の上流階級 八幡 和郎 // 著 清談社Publico</p>  <p>岸田家、安倍家、麻生家、鳩山家、河野家などの政界、渋沢家などの財界、皇室、旧宮家、旧華族…。日本の名家・名門の系譜を紹介する。家系図、華族約1000家の一覧、47都道府県の名門など貴重データが満載。</p>	<p>みんなが知りたい!「日本の山」のすべて 「日本の山のすべて」編集室 // 著 メイツユニバーサルコンテンツ</p>  <p>大雪山、八甲田山、槍ヶ岳、富士山、阿蘇山…。全国各地の山の成り立ちを説明しながら、歴史や自然、その山ならではの特徴などを紹介する。火山の分布と噴火の仕組み、用語解説等も収録。</p>
<p>感じのいい人は、この「ひと言」で好かれる 森優子 // 著 三笠書房</p>  <p>何気ない日常会話の中で、思いやりのある「ひと言」をさりげなくプラスすれば、すべての人間関係がうまくいく! 仕事から子育てまで、さまざまな相手・場面・状況ごとに、添えると効果抜群の「ひと言」を紹介する。</p>	<p>た 田島 征三 // 作 佼成出版社</p>  <p>たがやす、たねまく、たくましくそだつ。たすけあう、たたえあう、そしてたのしむ! 古来より稲作を中心とした農耕によって命をつないできた日本人。連綿と続く営みとその精神を、「た」から始まる言葉で描いた絵本。</p>
<p>若者言葉の研究 堀尾 佳以 // 著 九州大学出版会</p>  <p>「それな」「普通に」「激おこぶんぶん丸」…。常に生まれ、変化し、そして消えていく若者言葉のルールと体系を、社会言語学の知見と豊富な実例から分析する。若者の自然談話録音資料も収録。</p>	<p>本おじさんのまちかど図書館 ウマ・クリシュナズワミー // 作、長友 恵子 // 訳、川原 瑞丸 // 絵 フレーベル館</p>  <p>ひとりの女の子が社会を動かす! インドの街で小学校に通うヤズミンの楽しみは、まちかど図書館で本を借りること。ところがこの図書館が続けられなくなり…。読書への力、選挙など、これからの時代に大切なテーマを描いた物語。</p>

7月のおはなし会

コロナウイルス感染拡大防止のため、「おはなし会」を中止しておりましたが7月より再開いたします。毎月第1・第3水曜日の午前11時から正午まで開催しています。楽しいおはなしを用意していますので、お子さんと一緒にお聞きになりませんか?

7月のおはなし会は6日・20日です。

第66回 西日本読書感想画コンクール指定図書

今年度も、「第66回西日本読書感想画コンクール」の指定図書が決定いたしました。
この課題図書について、市図書館で購入し、備えてあります。

小学校低学年(1・2年)	小学校中学年(3・4年)	小学校高学年(5・6年)	中学校
 <p style="text-align: center;">光村教育図書</p> <p>ジェニファー・K・マン／作 林木林／訳</p>	 <p style="text-align: center;">絵本塾出版</p> <p>アンドレア・ベイティー／作 デイビッド・ロバーツ／絵 かとうりつこ／訳</p>	 <p style="text-align: center;">くもん出版</p> <p>『縄文の狼』</p> <p>今井恭子／著 岩本ゼロゴ／画</p>	 <p style="text-align: center;">『キャンドル』 フレーベル館</p> <p>村上雅郁／作</p>
 <p style="text-align: center;">岩崎書店</p> <p>くまくら珠美／作</p>	 <p style="text-align: center;">理論社</p> <p>ロイク・クレマン／文 アンヌ・モンテル／絵 石津ちひろ／訳</p>	 <p style="text-align: center;">『小さいママと無人島』 文溪堂</p> <p>キャロル・ライリー・プリンク ／作 松本春野／絵 谷口由美子／訳</p>	 <p style="text-align: center;">『マレスケの虹』 小峰書店</p> <p>森川成美／作</p>
 <p style="text-align: center;">理論社</p> <p>草野あきこ／作 永島社矢／絵</p>	 <p style="text-align: center;">徳間書店</p> <p>ニック・シャラット／作・絵 市田泉／訳</p>	 <p style="text-align: center;">『那木野、伝説の森で』 国土社</p> <p>西村さとみ／作 佐竹美保／絵</p>	 <p style="text-align: center;">『わたしは大統領の奴隷だった』 汐文社</p> <p>エリカ・アームストロング・ダン パー／著 キャサリン・ヴァン・クリーヴ／著</p>
 <p style="text-align: center;">金の星社</p> <p>濱野京子／作 しろさめ／絵</p>	 <p style="text-align: center;">教育画劇</p> <p>セバスチャン・ブラウン／作 聞かせ屋。けいたろう／訳</p>	 <p style="text-align: center;">『日向丘中学校カウンスラー室』 アリス館</p> <p>まはら三桃／作 めばち／装画</p>	<h1 style="color: red; font-size: 2em;">コンクール についての 紹介</h1> <p style="text-align: center;">西日本読書感想画コンクールは、昭和32年から続いており、全国でも最長の歴史と、地方での開催としては最大の規模となっています。子どもたちが本を読んで感じたこと、考えたこと、心に浮かんだイメージなどを、自分の心の中で組み立て、絵というかたちで表現するものです。読書感想画を通じて、読書への意欲が高まり、豊かな感性や想像力を育みます。</p>
 <p style="text-align: center;">童心社</p> <p>まつおかたつひで／作・絵</p>	 <p style="text-align: center;">ほるぶ出版</p> <p>セバスチャン・ブラウン／作 tupera tupera／訳</p>	 <p style="text-align: center;">『幽霊屋敷貸します』 新日本出版社</p> <p>富安陽子／作 篠崎三朗／絵</p>	
 <p style="text-align: center;">ポプラ社</p> <p>みやにしたつや／作・絵</p>	 <p style="text-align: center;">『まいごのピンチサンダル』 あかね書房</p> <p>村椿菜文／作 チャンキー松本／絵</p>	 <p style="text-align: center;">『妖怪コンビニでバイトはじめました』 あすなる書房</p> <p>令状ヒロ子／作</p>	